

新しい生活様式における授業運営指針

～2022年度 ダイジェスト版～

東京医療保健大学では、感染防止を徹底しつつ、学生の皆さんにより質の高い授業を提供できるよう授業運営指針を定めています。

医療や保健を学ぶ上で、演習や実習をはじめ対面授業に参加することはきわめて重要です。それと同時に、情報通信技術(ICT: Information and Communication Technology)が発達した現代では、ICTを活用した学びにも大きな意義があります。そのため、大学では対面授業と遠隔授業をどちらも大切にしています。

よりよい学生生活につながるよう、この指針の概要についてご理解いただければ幸いです。

対面授業制限レベルとは

「対面授業制限レベル」とは、感染まん延状況を踏まえて、皆さんがどのぐらいの回数・時間帯で登校するのが望ましいかを定める本学独自の基準です。このレベル決定では、国や自治体の方針はもちろん、感染者数などのデータや、国内外の医学的知見などを専門家が分析した上で、皆さんが学修を継続する上でもっともよい対面・遠隔のバランスとなるよう考慮しています。

なお、2021年度は感染状況によりレベル2～4の間で推移しました。レベルを緩和する(例:レベル3⇒レベル2)場合は、**少なくとも2週間前に、変更日・変更後のレベル・変更理由などをホームページで公表**します。その後時間割変更が生じることがあるので、各学部・学科の連絡にご注意ください。感染が急速に拡大してレベルを厳格化する(例:レベル2⇒レベル3)場合は、この告知期間を十分に取れない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

また、実習については、実習先と大学の協議によって、別に定める場合があります。

	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
開講時限	1～5 時限	1～5 時限	2～5 時限	2～5 時限	3～5 時限	登校自粛とし例外的なものを除き 対面授業は行わない
登校回数/週	制限なし	3回まで	3回まで	2回まで	2回まで	
教室定員に占める 学生数上限	制限なし	概ね2/3	概ね1/2	概ね1/2	概ね1/2	
学内での昼食	可	可	可	可	不可	
密接を 伴う演習	可	可	可	一部可 (看護師等 の指定規則 上やむを得 ない場合)	不可	

登校時は「不織布マスク」を着用

布マスクには予防効果が乏しいものも多いため、本学では不織布マスクの着用を義務付けています。(指定外マスクを着用の場合、教職員からお声掛けします。)

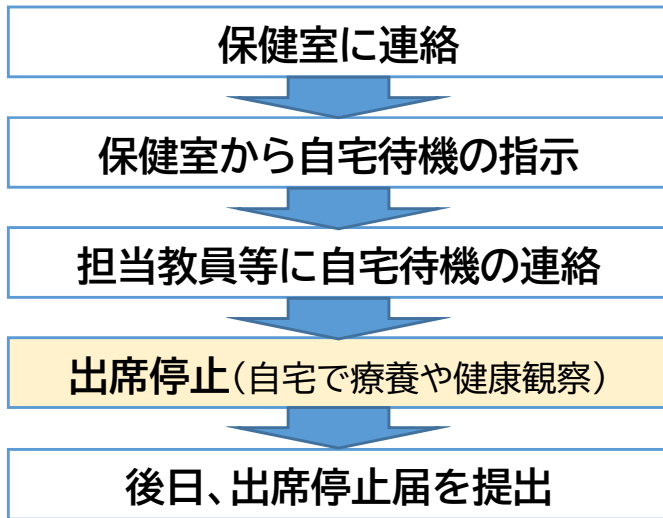


正課外活動の取り扱い

ゼミ活動・ガイダンスなど正規授業以外の教育活動や、クラブ・サークル等の課外活動も、この対面授業制限レベルに準じて運用します。したがって、**「レベル3」以上が指定されている時期は、原則として密接を伴う活動(マスクを外して行う運動や吹奏楽器による演奏など)は行えません。**全国的に課外活動に伴う感染が多いことを踏まえた措置ですので、どうぞご理解ください。

体調不良時の出席停止

体調が悪いと感じた時には、まず所属するキャンパスの保健室に電話で連絡をしてください。とくに、かぜ症状(発熱、咳、鼻水等)がある場合、それを**学生自身や教員が「新型コロナウイルス感染症ではない」と判断することはできません。**



「その病気ではない」と医学判断することを除外診断といいます。これも診断の一種なので、保健室からの報告で専任の学校医が判断します。(法令上、かかりつけ医の判断より学校医判断が優先です。)



保健室に連絡した後に所属学部・学科の指示に従って担当教員等に「自宅待機となった」ことを伝えてください。その後、保健室を通じて、学長が決定した出席停止期間が通知されます。その期間が明けたあとに、各キャンパスの教務担当に「出席停止届」を提出してください。

Q: 出席停止で休んだ場合も、欠席扱いになりますか？

A: **欠席扱いにはなりません。**例えば講義科目では「出席すべき日数」の2/3以上の出席がないと定期試験を受けられませんが、この「出席すべき日数」から出席停止日数が引かれます。定期試験の場合も、追試験などの代替措置が必ず行われます。

Q: 出席停止でも、遠隔授業には出席できますか。

A: 出席停止は、療養や健康観察に専念してもらうために行う措置です。このため、**遠隔授業を含めて、授業に出席しない期間**となります。ただし、健康状態には問題がなければ、希望により聴講することもありますが(出席にはなりません)。担当教員にご相談ください。

ワクチン接種やPCR検査の取り扱い

ワクチン説明
YouTube



大学では、**ワクチン接種に一定の効果があると考え、学生の皆さんにも接種をお勧めしています**(強制ではありません)。ワクチンに対する皆さんの疑問等については、学長や学校医がYouTube動画で説明していますのでそちらもご覧ください。

なお、ワクチン接種に発熱した場合、副反応の可能性もありますが、新型コロナウイルス感染症を含む何らかの病気に罹患した可能性もあります。このため自己判断せず、体調不良時と同様に、保健室に相談してください。(出席停止となった場合、上記のように配慮されます。)



PCR検査についても、演習や実習を継続する上で欠かせないものです。この検査には、ワクチンと違って副反応などはありません。そのため、健康診断と同じように**すべての学生や教職員に対してPCR検査を行うことがあります**。一部の学部・学科では授業時間の一部に検査を組み込む場合もありますが、それ以外の場合でも指示があった場合は必ず受けるようにしてください。